

令和3年度あわらし地域ブランド戦略会議

日時 令和4年3月16日(水) 14:00～

場所 あわらし役所 正庁

会 議 次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 芦原温泉駅まちづくりデザイン部会報告について(資料1)

(2) 令和3年度あわらし地域ブランド発信事業について(資料2)

4 協議事項

(1) あわらし地域ブランド戦略会議の廃止について(資料3、資料4)

5 その他

6 閉会

あわらし地域ブランド戦略会議委員名簿

(敬称略)

組織名	役 職	氏 名	備 考
あわらし市	市 長	森 之 嗣	会長
あわらし市商工会	会 長	赤 尾 政 治	
あわらし市観光協会	会 長	前 田 健 二	
芦原温泉旅館協同組合	理事長	山 口 透	
福井県農業協同組合	理 事	北 島 友 嗣	欠席
(株)金津技研	代表取締役	伊 藤 憲 治	
福井工業大学（デザイン学科）	教 授	川 島 洋 一	デザイン部会
福井工業大学（建築土木工学科）	教 授	下 川 勇	欠席
(株)福井銀行芦原支店	支店長	朝 倉 和 博	
あわらし市地区区長会連絡協議会	副会長		不在
あわらし市	副市長	城戸橋 政 雄	
あわらし市教育委員会	教育長	甲 斐 和 浩	

専門部会

芦原温泉駅まちづくりデザイン部会	部会長	笹 原 修 之	
------------------	-----	---------	--

事務局

あわらし市創造戦略部	部 長	西 川 佳 男	
あわらし市土木部	部 長	永 井 宏 昌	
あわらし市経済産業部	部 長	武 田 正 彦	
あわらし市創造戦略部政策広報課	課 長	江 川 嘉 康	
	課長補佐	西 正 真 琴	
	主 事	吉 川 知 輝	
あわらし市土木部新幹線まちづくり課	課 長	山 本 紹 央	
	課長補佐	翠 徳 夫	
	主 査	木 村 裕 一	
あわらし市経済産業部観光振興課	課長補佐	赤 神 貴 幸	

令和 3 年度
芦原温泉駅まちづくり
デザイン部会実施報告

第1回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会

日時 令和3年7月2日(金) 19:30～21:00

場所 あわら市役所 正庁 14名参加



会議の様子



他施設で使用しているマルシェワゴン

イベント・店頭・店内販売に

Marche Wagon

マルシェワゴン×ROCCO

ディスプレイ用
木製
マルシェワゴン

サイズ
本体: W1820×D910×H1900mm
天板: W1820×D910×H910mm

素材
木脚・柱等: 杉・ホワイトウッド・アクリル塗装
天板: 9mm厚合板・オイルフィニッシュ塗装
テント部: キャンバス生地

重量
総重量: 40kg
屋根部: 4kg・骨組: 20kg・天板: 16kg

仕様
天板用シート「ハモニカーボ」
厚み: 3mm
※天板の上に、乗せて使用します。
横断面で脚が2本あり、安定です。

※天板は、1000円以上のお買い物をすると、おまけでプレゼントします。

※天板は、1000円以上のお買い物をすると、おまけでプレゼントします。

商品が引き立つナチュラル＆シンプルなデザイン。
テーブルはディスプレイ品がたっぷり置けるサイズ感です。

ボルト無しで組立可能。本体部分は折りたたみ式になっています。移動に便利なキャスター付き！

- ・賑わい施設で活用を予定しているマルシェワゴンについて検討
- ・(仮称)賑わい施設の音響・機器、備品配置について協議 等

第2回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会

日時 令和3年9月30日(金) 19:30～21:00

場所 あわら市役所 正庁 10名参加



会議の様子



製作中のマルシェワゴン



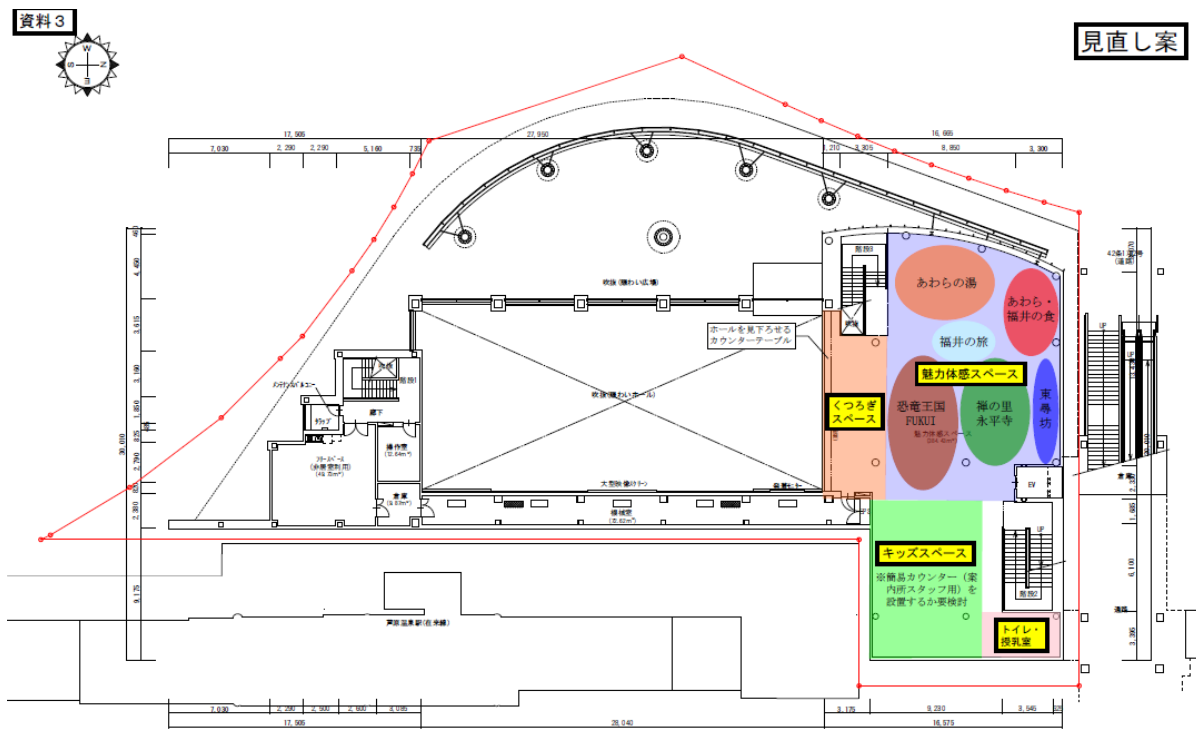
イベントで活用するステージの検討

- ・賑わい施設で活用を予定しているステージ等について検討
- ・オープニングイベントについて協議 等

第3回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会

日時 令和4年3月3日(木) 19:30~20:15

場所 中央公民館 多目的ホール 14名参加



魅力体感施設の見直し案

- ・賑わい施設「アフレア」整備内容の見直しについて報告
- ・デザイン部会の今後の方向性について報告 等

令和 3 年度
あわらし地域ブランド発信事業
実施報告

令和 4 年 3 月 16 日

あわらし政策広報課



ああ、あわら贅沢。

AWARA ZEITAKU

どこまでも広がる田園のむこうに、ゆっくりと夕陽がしずむ。
日本海を渡ってきた風に、のんびりと風車がまわる。
ああ、おもえば「贅沢」な景色かもしれない。

食卓にはいつも、海の幸、山の幸、里のめぐみ。
こんやのお風呂は、どの温泉にしようかな。
ああ、これって「贅沢」な暮らしかもしれない。

おはよう。いい天気やの。気をつけて、行ってきねの。
みんなが声をかけあって、みんながみんなを思いあっている。
これがあわらの普通で「ふだん」だけど、
よそから見たらとても豊かで「贅沢」かもしれない。

みなさん、あわらしい贅沢を見つけてください。
そして、どうぞ感じてみてください。
ここはあわら市、幸福な福井県にあるちょっと贅沢なまちです。



■ 目的：

地域ブランドを内外に広く発信し浸透させることで、市民のふるさと愛の醸成を図るとともに、移住・定住の推進や観光客の誘致、新たな企業の誘致、新商品・特産品開発など、市全体の活性化や地方創生に資する取り組みとして展開し、あわら市のまち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる「暮らしやすくて幸せを実感できるまち」の実現に寄与することを目的とする。



ああ、あわら贅沢。

都会にはないぜいたくがあるまち

平成28年度に制定したブランドメッセージ・ロゴマークの考え方を踏襲し、
**あわら市民の『愛着』を高め、「ああ、あわら贅沢。」の
ブランドメッセージを浸透させる事業。**



数値目標	基準値 (H29.3)	KPI (H30.3)	KPI (H31.3)	KPI (R2.3)	KPI (R3.3)
あわら市民のブランドスローガン 認知度	30.2%	31.6%	36.4%	35.8%	30.4%
市民のあわら市に対する愛着度	37.2%	35.0%	37.6%	36.9%	37.0%



目 的

「都会にはないぜいたくがあるまち、あわら市」を市内外に発信することで、あわら市の知名度の向上と、市民の誇りや自信、郷土への愛着を育む。また、地域資源の魅力に磨きをかけ、それを活かして更なる地域活性化に取り組む核となる人材の育成を図る。

事業内容

● 知名度の向上

1 おにぎりアクション2021

- ・「食」という資源に着目した情報発信とPR
- ・NPO法人TABLE FOR TWOとの連携による相乗効果

2

感幸プロモーション動画を活用した情報発信

動画を使ったあわら市の魅力発信

3

「あぁ、あわら贅沢。」 Instagramによる情報発信

- ・人気のSNSツールを使った魅力発信
- ・あわらファンの獲得

● 人材の育成

4

「あわら感幸創造マイスター」 養成セミナー

地域資源の魅力に磨きをかけ、それを活かして更なる地域活性化に取り組む核となる人材を育成

あわら市内では、市民の皆さんに「おにぎり写真」の投稿を呼びかけたところ、コロナ禍という状況の中、市内こども園や小学校、金津高等学校など多くの児童生徒が参加し、**寄せられた写真の合計枚数は、857枚であった**。あわら市からは、アジア・アフリカの子ども達の給食費として、**4,200食分**以上が届けられたことになる。

また、昨年度に引き続き、今年度も、「あわらむすび」をこれまでに考案いただいた市内飲食店11店舗において、10月5日から11月5日までの「おにぎりアクション2021」の期間中に、おにぎりの販売と「おにぎりアクション2021」のP Rを行い、イベントの盛り上げに協力をもらった。

■あわら市では各学校の協力も得て、多数の写真を投稿



■チラシを配布し、おにぎりの販売とイベントP Rを実施



■「おにぎりアクション2021」全体では、コロナ禍において投稿枚数の減少も見込んでいたものの、SNSで広く拡散され、1日あたり**8,500枚**以上の投稿枚数を維持

- 写真投稿件数 **27万3,876件** (1日約8,500枚)
- 届けた給食食数 **140万食** (7,000人の子どもたちに1年分)

あわら市若手職員による「あわらむすびDEおにぎりアクション」のInstagramによる発信



▲市役所 1 階「贅沢スペース」において撮影



▲若手職員「あわら大好き倶楽部」インスタによる情報発信

市役所若手職員で運営するSNSチームが、自分たちで握ったおにぎりを持って、おにぎりアクション2021のスタートに合わせ、Facebook及びInstagramで情報発信を行った。

また、おにぎりアクションの期間中に、「あわらむすび」をこれまでに考案いただいた協力飲食店舗を巡り、あわら贅沢なおむすびの数々を紹介し、おにぎりアクション2021への参加を呼びかけた。

福井新聞 2021.11.13 論説

市内小学校、高等学校の児童生徒によるおにぎりアクション

市内十一の飲食店では、
各店が提案したオリジナルの
おかわりむすびに、提供中
の運動の盛り上げに役
買っている。
市担当者らは「優し
い仲間」みんなで取り組んで
Sに挑戦する。

世界の子どもを貧困から救うプロジェクト「おにぎりアクション」に協力しようとして、あわら市の金澤高と伊井小で、給食とおにぎりを作る取り組みが行われた。生徒と児童たちは、おいしそうにほおばる写真を次々と撮影した。

プロジェクトは同市出身の大平 絵奈さんが2015年に提唱、インスタグラムなどのSNS（会員制交流サイト）におにぎりの写真を投稿すると、給食や食分に相当する1000円が協賛企業・団体に寄付される。主催団体を通じてアフリカなど発展途上国の子どもたちに給食が届けられる。

市がプロジェクトの自治体パートナーとなっていることもあり、金澤高では18年から生徒会が運動に賛同し、今年も全校生徒6433人に呼び掛けた。

19日は1年生7クラスで実施。生徒会の5人が各教

福井新聞 2021.10.22

る。法人のサイトやSNS（SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービス）に「おにぎり」にまつわる写真を投稿すると、1枚につき給食5食分（100円）が協賛企業・団体から寄付され、アフリカやアジアの子

4000枚の写真を投稿された。これは約140万食分に相当し、昨年と比べ1.5倍増の成果だ。日本から世界を繋ぎあがれ組むとして進んでいる。

背景にはSDGｓ達成に向けた社会全体の機運の高

市は子ども園や各小中学校に呼び掛け、写真を撮ってもらった一斉、市内11の飲

社会的な連携が高まってきた。このプロジェクトは貧困をなくしていく目的だけではなく、食生活の改善や地域経済、健康寿命の推進にも通じるのではないだろうか。

福井市出身の医師、石塚左香が提唱して広まったのが「食育」。プロジェクトを全国の学校に広め、食育、米食とつながれば、もっと多角的に関心が広がるかもしれない。途国の子どもたちへの支援として掲げられているSDGｓ達成への貢献、食育の考え方がさらに多くの人に届いてほしい。

2021.11.13

- 目 的 : このセミナーは、あわらの自然・歴史・文化・食・産業など様々な分野で活躍している人を対象としている。

地域資源の魅力に磨きをかけ、それを活かして更なる地域の活性化、誘客拡大、新たなビジネスの開発、人材育成などに取り組み、住む人や訪れる人も幸せにする、そして、地域を豊かにするイノベーションを起こすような人材の育成を目的としている。

令和3年度のセミナーでは、あわらしい地域資源の掘り起こしや令和2年度に企画した企画内容の磨き上げと、ツアー受入れ態勢の整備やマネジメント、販売営業戦略、ツアーガイドシナリオの作成など実践に向けた取組みについて学ぶ。また、新たな受講生を追加し、仲間づくりと人材育成につなげる。



■ セミナー講師 :



・江崎 貴久 (えざき きく)

(有限会社オズ 海島遊民くらぶ 代表取締役)

(略歴)

1997年、有限会社菊乃設立、代表取締役就任。観光業のあるべき姿を見直し、地産地消を基本に旅館海月の経営を開始。2001年(有)オズを設立、離島をフィールドに自然や生活文化を通して環境と観光、教育と環境を一体化させたエコツアー「海島遊民くらぶ」を展開。

現在、観光や環境に関わる行政委員や地元の伊勢志摩国立公園及び鳥羽市のエコツーリズム推進協議会会長、観光協会副会長を務め、次世代のリーダー・人材育成・地域全体での資源活用のあり方を研究しながら実践するとともに、各地の地域の活性化に取り組んでいる。令和2年あわら市にて開催の「まちむらときめきセミナー」においても講演。

海島遊民くらぶ



■ セミナー受講生 :

2年目 4名	(株)グランディア芳泉 山口高澄	NPO法人細呂木創成会 酒井敏雄
	(一社)蓮如の里吉崎 末富攻	海渡由紀子
1年目 4名	(一社)なみまち倶楽部 山岸嘉郎	新郷小学校を考える会 三上寛了
	馬忠呉服 馬面忠幸	(株)芦原国際ホテル美松 前田健吾

■ 事業概要：開講期間 令和3年6月22日から令和3年12月1日（全6回）

受講日程・内容

6月22日	セミナー開講オリエンテーション 市役所202会議室
第1回 7月3日、4日	先進地視察研修（1泊2日）三重県鳥羽市（海島遊民くらぶ） ・菅島修学旅行プログラム体験 ・漁師による海ほたるプログラム ・カヤック体験 ・海女の国（相差町）探検
第2回 7月14日	現状分析とプロジェクト骨格について（1年目受講生） 令和2年度企画の進捗状況について（2年目受講生）
第3回 7月15日	あわらの見える化（あわらワールドマップ）についての意見交換 ガイド講習会
第4回 9月2日	地域資源の調査（吉崎地区） 地域課題やビジョンなどについて、現地調査を交えながら意見交換
第5回 9月3日	12/1開催の企画プレゼンについて 課題（企画書）プレゼン1人5分 企画についての意見交換 観光商品企画・販売体制・営業・販促に向けた相談会
第6回 12月1日	商品化等の提案及び令和2年度企画報告会 9名の受講生等が企画した観光体験プログラム等のプレゼンテーションを行う。1人（発表5分、質疑等5分）10分



■企画プレゼンテーション概要

- ・開催日時：2021年12月1日（水）13:30～16:05
- ・会場：あわら市役所3階 正庁
- ・講師：有限会社オズ 海島遊民くらぶ
代表取締役 江崎 貴久
- ・内容：9名の受講生等による企画プレゼンテーション、報告
1人（発表5分、質疑等5分）10分
あわらの見える化について
企画プレゼンテーションにかかる全体講評（江崎講師、市長）
- ・発表者：次頁のとおり
- ・参加者：市長、副市長、市議会議員11名
商工会副会長、県観光連盟4名、旅館関係者2名
JR西日本金沢支社福井支店、福井銀行
北潟地区・細呂木地区区長会会長、北潟公民館長
(一社)なみまち倶楽部理事長、金津まちなか創成会
観光ガイド協会会員5名、(一社)蓮如の里吉崎副理事長
旅行業者2社、農商工業者等
あわら市部(局)長7名

総数47名



▲受講生発表の様子



▲会場参加者より質問の様子

手ぶらで はかま着付体験 まち巡り



【キーワード】何気ない街並みに非日常を感じ！あわら感幸を楽しもう！

提案者：株式会社 姿羽馬忠（はごろもばちゅう） 馬面忠幸

発表日：2021年 12月 1日

WELCOME! シロキスの里 波松海岸



提案者：

（一社）なみまち倶楽部

監事 山岸 嘉郎

人にも自然にも優しい 感幸あわらブランディングに向けて ヘルスツーリズムのご提案

健幸を感じる街あわら市

提案者：あわら市観光協会 原 義樹

作成日：2021年12月1日

①馬忠呉服店 馬面忠幸

「手ぶらではかま着付体験まち巡り」

非日常の和装はかま姿に着替えてあわら市内を巡り、お店や人とふれあい、思い出に残る映える写真を撮る。

【実施体制】

馬忠呉服店内での着物選びと着付
着物 女性80着 男性20着の在庫
（対象年齢6歳男女児～）

グループ少人数では、1人の着付
団体大人数では、店内展示場にて着付
着替え完了時間1グループ 約1時間程度



②（一社）なみまち倶楽部 山岸嘉郎

「WELCOME！シロキスの里 波松海岸」

シロキスの天ぷらを波松の名物にして波松に観光客を呼び込み地域活性化を図る。

【実施内容】

時期：5月～9月

キス釣り体験（110分）3千円/人 2名～
終了後 海岸清掃（15分）

◎オプション

キスの捌き方、調理体験+試食 3千円/人



③あわら市観光協会 原義樹

「ヘルスツーリズムのご提案」

あわら市の観光資源（自然・歴史・文化・アクティビティ）を活かし、アフターコロナを見据えた、楽しみながら健康になる新たなツーリズムや運動・体験を織り交ぜたゆっくり季を楽しむヘルスツーリズムの提案。

地元の食材→食のストーリー→生産者との会話→現地での体験→感動→リピーター





④ 芦原国際ホテル美松 前田健吾

「隙間時間に新たな感幸」

旅館へチェックインする前から入館している旅行客の隙間時間に、あわらを感じてもらうための仕掛けづくり、旅館の中に感幸スポット新設する。
金津創作の森の作家さん協力のもと、ラウンジでの個展開催及び客室での展示。

【効果】

お客様より創作の森の道案内を尋ねられるケースが増えた。作家さんの創作意欲向上プラス上質な空間提供による顧客満足度の向上。



⑤ 新郷小学校を考える会 三上寛了

「あわらアクセシビリティ向上計画」

情報やサービスへのアクセスのしやすさを向上させ情報の共有と発信を図り、循環型地域振興の土台を構築する。

【アナログによる繋がり】

繋がる縁日プロジェクト 開催1回/月
多様なコンテンツ、様々な場所において多世代が繋がれるリアルイベントの開催。

【デジタルによる繋がり】

Instagramを活用し、モノコト+人にフォーカスし、外からの目線で見たあわらの発信。

例：あわら探検隊



⑥ NPO法人細呂木創成会 酒井敏雄

・「手ぶらでドンぶらカヤック体験」

金津まちなか創成会設立
イベント広場&親水階段&バーベキュー広場の再生
カヤック体験会（3回/年）
街歩き、垂飾り体験、江戸期金津宿絵図設置

・「森に潜む謎の城跡『神宮寺』を探るツアー」

市指定文化財へ指定
「神宮寺城跡保存会」の設立
散策整備計画検討会の開催
神宮寺参道、散策路、主要施設整備



企画プレゼンテーション内容（抜粋）

蓮如の里吉崎に若人が集う、
2拠点同時整備に挑戦！

全天候型遊び場で親子の触れあい
北潟湖でカヤック遊び

プレゼンター
一般社団法人蓮如の里吉崎
理事長 末富 攻



フルーツ王国あわら
建国に向けて

あわらは
クラフトビールで
楽しくなる！

⑦（一社）蓮如の里吉崎 末富 攻

・「全天候型遊び場で親子の触れ合い」

子育て親と子どもの触れあい場を休校吉崎小学校に全天候型遊び場「あそぼっさ」を開設

使用時間：毎週土日 10時～15時

クラウドファンディングの実施、4月オープン予定

・「北潟湖でカヤック遊び」

北潟湖から鹿島の歴史文化と自然史の魅力を
活用した見える賑わいづくり

R3：ルートと地域資源調査、実施体制検討

R4：ツアー事業開設に向けた準備期間

R5：道の駅開業に合わせ事業開始



⑧あわら市観光振興課 竹内優美

「フルーツ王国あわら建国に向けて」

メガパフェづくり体験モニターツアー（4組）

県立大学あわらキャンパスにプレゼン

各種観光素材の営業会議で旅行会社から意見
聴取

課題：運営組織、場所の問題

→パターンA 駅西口広場に入居予定の飲食
店に運営依頼

→パターンB 団体向け/パフェづくり体験

※ある程度の参加人数のいる場合催行

市観光協会主催にて完全予約制とする。



⑨海渡由紀子

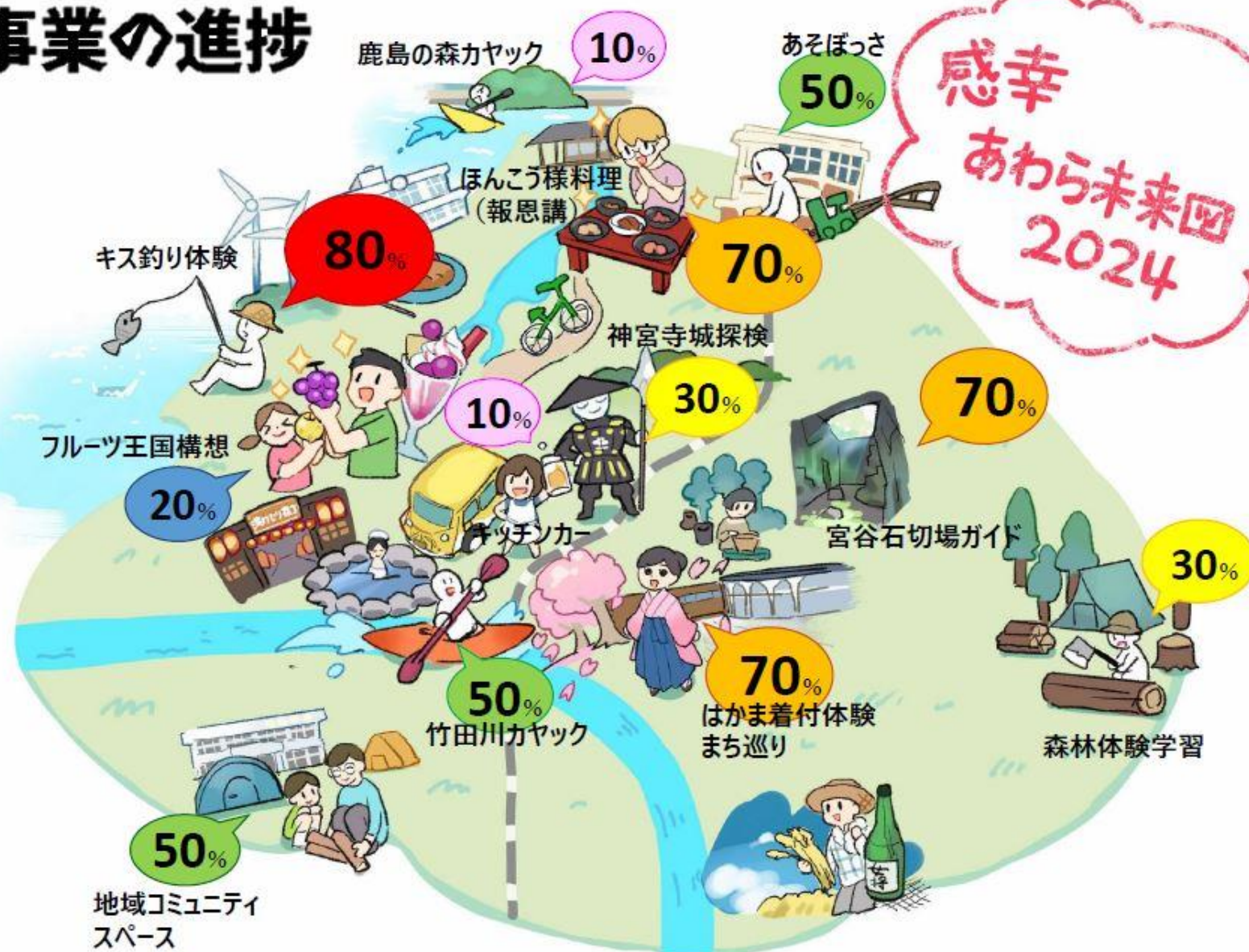
「あわらはクラフトビールで楽しくなる！」

クラフトビールというコンテンツを利用し、人、農業、空き家、食、温泉、観光、コミュニティをつなぐ。

あわらでクラフトビールを作り、有機的なつながりによって、あわらに人を呼び込み、人をつなぐ。



事業の進捗



日刊県民 2021.8.9

竹田川カヤック体験会

項目	備考	金額
■あわらむすびプロジェクト・アクション ・T F T「おにぎりアクション」企画協賛	・おにぎりアクション実行委員会Web参加 計1回 ・日産自動車企画のPR動画への参加 ・市内11飲食店協力によるおにぎり販売でイベントのPR	¥220,000
■あわら感幸創造マイスター養成セミナー	・養成セミナーの開催 ・セミナー期間…2021年6月～2021年12月（計6回） ・受講生…市内各分野で活躍している8名 ・企画プレゼンテーションに関するアンケートの実施	¥1,006,000
■ブランド戦略会議等の運営	・委員報酬、お茶代	¥30,592
■感幸プロモーション動画を活用した情報発信	・感幸プロモーション動画放映用ディスプレイ（4K対応） ・あわら市公式YouTube「あ！わらってネット」	¥0
■Instagram、贅沢スペースによる情報発信	・Instagram「あぁ、あわら贅沢。」から あわらの魅力の発信 ・1階庁舎贅沢スペースでの市民活動の発表	¥0
合計（税込）		¥1,256,592

地域ブランド戦略会議（ブランド専門部会・芦原温泉駅まちづくりデザイン部会） のこれまでの主な成果について

年度	ブランド専門部会	芦原温泉駅まちづくりデザイン部会
H28	●あわらの未来づくりアンケート実施（全市民対象） ・「あわらの宝・誇り」の意見収集 ●地域ブランドのスローガン「あぁ、あわら贅沢。」、ステートメント（スローガンに込められた思い）決定 ・将来デザイン市民投票の場で発表 ●ロゴデザイン全国公募 ・561点の応募の中から1点を選定 ●ブランドサイト制作 	●あわらの未来づくりアンケート実施（全市民対象） ・「駅周辺への希望」「新幹線駅舎のデザインコンセプト」の意見収集 ●市民参加型ワークショップ実施 ・「駅周辺に必要な機能」の意見収集 ●芦原温泉駅周辺将来デザイン市民投票実施 ・ブランドコンセプト「都会にはない贅沢があるまち」を基に「西口」「駅前商店街」「竹田川」の将来デザインを3名のデザイナーに描いてもらい、投票により5点を選定
H29	●ブランドサイト開設・運営 ・専用ホームページにおいて毎月コラム、あわらむすびプロジェクトを更新 ●あわら贅沢リボン・シール制作 ・市内企業とのタイアップにより地域ブランドを浸透 ●あわらむすびプロジェクト展開 ・市内飲食店の協力によりオリジナルのあわらむすびを開発・販売し、県内外に発信 ●TABLE FOR TWO「おにぎりアクション」参加協力 ・都会で活躍するあわら市出身者が企画する事業への協賛 ●庁舎1階に「贅沢スペース」整備 ・市民の発表の場として活用 	●芦原温泉駅まちづくりプラン素案策定 ・将来デザインの具現化に向け、賑わい創出のための機能や仕組み等を概算費用を含めて定める「芦原温泉駅周辺まちづくりプラン」の素案を策定（策定主体は芦原温泉駅周辺賑わい創出協議会） ●市民参加型ワークショップ実施 ・芦原温泉駅周辺まちづくりプラン素案についての意見交換 ●市民・駅利用者・観光客ニーズ調査 ●土地活用検討街区・駅前商店街の土地・建物現況調査 ・上記調査結果を踏まえ、賑わい創出に向けた将来像（カフェの必要性等）や具体的事業（ビジネスホテル誘致等）を検討
H30	●ブランドサイト運営 ●TABLE FOR TWO「おにぎりアクション」参加協力 ●Instagram開設・運営 ・あわら贅沢キャンペーンの実施 ●あわら贅沢さがし授業展開 ・市内小中学校におけるふるさと愛の醸成 ●「贅沢スペース」貸し出し ※H31～部会休会（各事業は市が実施）	●芦原温泉駅まちづくりプラン策定 ・策定されたプランに基づき、賑わい施設の設計をはじめ必要なインフラ整備を実施
R1	●ブランドサイト運営 ●TABLE FOR TWO「おにぎりアクション」参加協力 ●プロモーション動画の制作 ●Instagram開設・運営 ●あわら贅沢さがし授業展開 ・市内小中学校におけるふるさと愛の醸成 ●都会にはない魅力を発信する活動団体補助金 ●「贅沢スペース」貸し出し	●賑わい施設の利活用方法の検討 ・イベントのプレーヤーや実施主体を部会員に加え、イベントしやすい設備や備品を賑わい施設の基本設計等へ反映
R2	●ブランドサイト運営 ●TABLE FOR TWO「おにぎりアクション」参加協力 ●プロモーション動画による発信 ●Instagram運営 ●あわら贅沢さがし授業展開 ●「あわら感幸創造マイスター」養成セミナー ●「贅沢スペース」貸し出し	●賑わい施設の利活用方法の検討 ・実際に実施可能なイベントを洗い出し、賑わい施設管理運営計画に反映
R3	●ブランドサイト運営 ●TABLE FOR TWO「おにぎりアクション」参加協力 ●プロモーション動画による発信 ●Instagram運営 ●「あわら感幸創造マイスター」養成セミナー ●あわら贅沢さがし授業展開 ●「贅沢スペース」貸し出し	●賑わい施設の利活用方法の検討 ・ホール・広場におけるイベントステージやマルシェワゴン等の備品の具体的検討 

※地域ブランド戦略会議において、年2～3回程度の会議を開催し、両部会の事業の進捗管理・意思決定を行っている。

資料 4

芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」及び駅周辺まちづくりの今後の展開について

項 目	令和3年度												令和4年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設整備	建築工事												館内装飾・事務所・観光案内所整備											
	魅力体感施設整備（コンテンツ制作、撮影等）												魅力体感施設整備（内装）											
	カフェレストラン・物販店舗整備																							
	各種調整（備品、大型ビジョン、デジタルサイネージ、セキュリティ、カフェ物販等）																							
施設管理運営	愛称募集												開館～R5.5（GW） オープニングセレモニー、毎週イベント実施											
	選定委員会												開館											
賑わい創出 （ホール・広場）	芦原温泉駅 まちづくり デザイン部会												一般社団法人設立											
	芦原温泉駅 まちづくり デザイン部会												社員（会員）募集・寄付金等依頼											
	芦原温泉駅 まちづくり デザイン部会												条例制定											
	イベント・展示・館内装飾・備品等の検討												指定管理者指定											
駅周辺活性化・ 広域への波及	イベント・展示・館内装飾・備品等の検討												貸館受付											
	イベント・展示・館内装飾等の検討												（仮称）アフレア活性化委員会設立 （イベントプレーヤー、各種団体、生産者等）											
施設を起点とした駅周辺を活性化させる仕組みの検討 （市商工会、市観光協会、JR西日本、並行在来線事業者、ビジネスホテル事業者、新富繁栄会等との連携）	イベント・展示・館内装飾等の検討												サポーター募集（イベント・展示補助、清掃ボランティア等）											
	施設を起点とした駅周辺を活性化させる仕組みの検討 （市商工会、市観光協会、JR西日本、並行在来線事業者、ビジネスホテル事業者、新富繁栄会等との連携）																							